

8. 今年度採用の監督官に聞きました！



なぜ監督官を選んだのですか？

- 大学時代に経済学を専攻する中で、労働分野に興味を持ったことがきっかけです。監督官として様々な事業場に関わり、少しでも労働環境を良くすることで社会に貢献したいと思ったからです（岩田さん）
- 説明会で、生きるための労働の中で命を落としてしまう人がいるという話を聞き、安全・安心に働く労働環境を作りたいと思ったからです。専門職であること、大学で学んだことを活かせること、司法警察員としての権限があることも理由のひとつです（兼山さん）
- 労働災害のニュースをきっかけに、労働環境で困っている人たちの役に立ちたいと思い、監督官を目指しました（長谷川さん）
- 大学で労働法を専攻しており、法律を通して働く人の命や健康を守るという監督官の仕事にあこがれを抱いたからです（井下さん）

なぜ岐阜労働局を選んだのですか？

- 説明会に参加した際に、職場の雰囲気がとても良く、職員の方たちの会話もとても和やかだったので、ずっとここで働きたいと思いました（長谷川さん）
- 地元である岐阜県で働きたいと考えていたことと、説明会に参加した際に親身になって相談に乗っていただき、あたたかい雰囲気に魅力を感じたからです（井下さん）
- 他の労働局の説明会に参加した上で、説明会の雰囲気が一番あたたかく対応がとても丁寧だと感じたからです（岩田さん）
- 地元の岐阜県で働きたかったこともありますが、説明会での職員の方々の雰囲気が良く、働きやすそうと感じたことが一番の理由です（兼山さん）

職場はどんな雰囲気ですか？

- 明るい雰囲気で、分からないことや不安に思っていることを丁寧に教えてくれたり、一緒に解決していただけるとても働きやすい環境です（井下さん）
- 困ったことは何でも聞ける、とてもアットホームな雰囲気です。いつも気にかけてもらっている職場の先輩方に毎日大変お世話になっています（岩田さん）
- 分からないことを聞いても快く教えてもらえるため、気軽に質問ができる雰囲気です。周りの上司の方同士も報告や相談を密に行っている印象です（兼山さん）
- 職員の方たちはみんな優しく、分からないこともすぐに聞きやすい雰囲気です。上司もとても気にかけてくださり、何かあれば気軽に相談しています（長谷川さん）

実際に岐阜労働局で働いてみてどうですか？

- 優しい上司や先輩方に教えていただきながら新しいことを学ぶことができ、毎日たくさんの刺激を受けています（兼山さん）
- 学生のときは働くことに対して不安がありましたが、先輩や上司の方に助けてもらえるので安心して働くことができます。日々新しいことを覚えるので成長を感じられ新鮮な気持ちで働くことができます（長谷川さん）
- 分からないことはすぐに相談をし、教えていただけてとても働きやすいです。毎日初めて見るものや学ぶことがあります、楽しく仕事をすることができます（井下さん）
- 年次休暇が取得しやすいと感じます。積極的に休暇を取得することが推奨されており、仕事もプライベートもどちらも充実しているなど感じています（岩田さん）

岐阜労働局の魅力はなんですか？

- すばり、研修制度の充実だと思います。岐阜局独自の研修が充実しており成長の機会がたくさん用意されていると思います（岩田さん）
- 一番の魅力は人のよさだと思います。局での研修も魅力の一つで、実践的な研修が充実しています（兼山さん）
- 研修制度が手厚いところです。先輩や上司は気さくに話しかけて下さり温かい人たばかりです（長谷川さん）
- 独自の研修があり、学びやすい環境があることが魅力だと思います（井下さん）

独自の研修が
自慢です！

やつまつよう、
一緒に監督官！



歓迎します！

岐阜労働局

労働基準監督官は、労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康を守る仕事をしています。

労働基準監督官は
“法律を学んだ人が就く仕事”
と思われがちですが、採用試験には
A（法文系）と B（理工系）の区分
があり、理工系の知識を活かすこともできます。

専攻に関わらず、大学等で学んだことを生かして
働く人が安心して働く社会
を実現するために、労働基準監督官として、岐阜労働局で一緒に働きませんか。

令和7年6月

岐阜労働局で
労働基準監督官

になってみませんか？

問合先：岐阜労働局総務課 人事第二係まで ☎ 058-245-8101



採用情報を
公式X
で発信しています

岐阜労働局【公式】
-YouTube

密着！労働基準監督官
の1日
業務説明会
若手・女性監督官の
フリートーク動画
公開中



1. トップからのメッセージ



働く人たちの幸せと未来を支える

少子高齢化が進み労働力人口が減少する中、我が国が持続的に成長していくためには、これまでの働き方を抜本的に見直し、誰もが安心して働き続けられる職場環境を整備していくことが不可欠です。

労働基準監督官は、安全で健康に働くことができる環境づくりのため、第一線である企業の現場で支援・指導に取り組んでいます。

岐阜労働局では、法律知識や理工系知識を活かし、働く人たちを支える労働基準監督官の仕事に、やりがいを求める方々を歓迎いたします。

岐阜労働局長
原田 浩一



ワークライフバランスと若手のスキルアップに取り組んでいます

岐阜県は自然と人に恵まれた良いところですが、働く人の状況をみると、過労死等につながりかねない長時間労働、厳しい労働環境にある外国人技能実習生、仕事上の災害の増加など、私たち労働基準監督官の力が必要とされる場面がまだまだたくさんあります。

岐阜労働局では、若手のスキルアップのための研修などに加えて、職員のワークライフバランスに力を入れていることもあって、職場の雰囲気も良く、公私とも充実した日々を過ごすことができます。

岐阜県で働く方々が安心して働くことのできる環境づくりに、ともに取り組んでいきましょう。

労働基準部監督課長
平林 健生

2. 2年目監督官の体験記



令和6年度採用（労働基準監督官A） 岐阜労働基準監督署 石川 さん

私は現在、2年目の労働基準監督官として主に監督指導業務に従事しています。監督指導では、様々な企業を訪問し、労働時間や賃金支払い等労務管理や、機械や化学物質等の安全衛生管理の状況を調査し、法違反や改善点があれば指導を行います。対象となる企業はサービス業や製造業、建設現場等様々あり、幅広い知識が必要となってきます。行政指導を行う立場のため、責任の重さを感じる時もあります。

しかし、同時に、長時間労働や賃金未払い、危険な機械や作業を指導し、労働者が安心して働くことのできる労働環境を守ることができることにやりがいを感じています。

また、岐阜労働局では研修制度も充実しており、身近には優しく教えてくれて頼れる上司や先輩がいます。豊富な研修のおかげで同期とも親交が深まり、仕事の悩みや不安を気軽に相談できる仲間もいます。職場や局全体の雰囲気の良さが岐阜労働局の魅力だと思います。

皆さんも岐阜労働局と一緒に労働基準監督官として働きませんか。



6. 岐阜労働局のワークライフバランス

●育児や介護、仕事との両立

子供が生まれる男性職員について、育児参加休暇や育児休業などを合計1ヶ月以上取得することを推進しています。

また、子供の看護や保育園などへの送迎、介護が必要な家族の病院への送迎などが必要な職員は、男女ともに、出退勤時間を変更したり、看護休暇や介護休暇などの各種制度を利用しながら、家庭生活と仕事の両立を図っています。

育児休業の取得率は、男女ともに100%（2024年実績）です。

●年次休暇の取得促進

毎月1日以上の年次休暇を取得する「マンスリー休暇」の取組を行っています。

また、ゴールデンウィークや夏季休暇期間、年末年始期間には、マンスリー休暇以外に月1日から2日以上の年次休暇取得を推進しており、多くの職員は年次休暇を含めて連続1週間以上の休暇を取得しています。

年次休暇の平均取得日数は16.2日／年（2024年実績）です。

●時間外労働の削減

時間外労働を削減するため、毎週水曜日の全省庁一斉退庁日に加え、岐阜労働局では毎週金曜日を定時退庁日（ノーカンパニー）としています。

やむを得ず時間外労働を行う場合でも、19時を終了時間の目安にすることとしています。

7. 安全衛生担当者の仕事を紹介します



令和2年度採用（労働基準監督官B） 農学部卒 岐阜八幡労働基準監督署 寺町 さん

安全衛生の仕事は、会社や工事現場を訪れ、働く人だけがや病気を防止するための法令に基づき指導やアドバイスを行う業務、クレーン、ボイラー等の各機械が適切に設置され維持されているかを検査する業務、実際に災害が起った現場に向かい、まるで名探偵コナンのように原因を突き止め、再発防止対策を指導する業務のほか多種にわたります。



私は学生時代に農業土木を専攻していました。土木工事現場を訪れると、学生時代に学んだ知識が生かされます。実際の現場を目の当たりにし、感動を覚えることもあります。

安全衛生部署は専門的で難しいという印象を抱くかもしれませんのが、経験豊かな上司・先輩らの手厚いサポートや充実した研修があるので、文系・理系関係なく、好奇心をもって学びながら仕事ができます。

5. 新任・若手監督官のスキルアップのために

独自

岐阜労働局では、新任の監督官や入省後10年以下程度の若手監督官に対し、様々な独自研修を行い、スキルアップを図っています。座学だけでなく、ロールプレイ研修など、工夫を凝らした研修を実施しています。

新任・若手監督官のための1年間の研修実績をご紹介します。

◆ 新任監督官スタートアップ研修

新任監督官が集まって行う初めての研修です。グループワークにより、同期の監督官のユニークな特技やエピソード等を聞き取った後、自己紹介（他人のことを周りに紹介）を行いました。

→ 同期のこれまでの歩みや、趣味、休日の過ごし方などについて情報を共有し、自分とは異なるバックグラウンドや価値観を知ることで、繋がりを深めています。



監督署によく届出される書類の受理や労働相談の対応について、ロールプレイング形式で研修を行いました。監督課職員が来庁者役を演じ、新任監督官が参考書籍等を使い知恵を出し合って対応しました。

→ 届出書類の審査のポイント、根拠となる法令等を実践形式で学ぶことが出来ました。また、労働相談を受ける際に相談者に確認する点を理解することが出来ました。

◆ 技術研修（林業）

労働災害を防止するために、現場の安全・衛生対策の状況を確認し、必要な指導をすることも監督官の仕事のひとつです。林業研修では、伐木作業の現場で、伐木や集材の方法、林業機械の種類、作業を安全に進めるための対策について学びました。

→ ヘルメット、作業着等を着用して研修を行いました。チェーンソー、林業機械による実際の伐木作業の様子を見学し、労働災害の防止に関する理解が深りました。



◆ 司法研修



司法警察業務に関するロールプレイ研修を行いました。事業者が任意検査に応じない場面を想定し、検査差押の演習を行いました。

→ 検査の過程において、証拠物の収集を行いますが、相手方が検査に協力しない場合、強制検査（裁判所の令状に基づいて行う検査）により、証拠を集めます。若手監督官が協力して検査する演習を行いました。



「GR研修」

他にも、2年目監督官を1週間、配属されている署とは違う監督署へ配置し、普段とは異なる環境下で監督指導や窓口業務を体験する研修も行っています。

3. 岐阜労働局の監督官はどこに配置されているの？

労働基準監督官は、県内7か所の労働基準監督署に配置されているだけでなく、岐阜労働局内の総務部、雇用環境・均等室、労働基準部にも配置されています（ の中に配置）。

岐阜労働局

総務部

総務課

労働局内の総務・人事・会計関係業務
情報公開開示請求、官公需相談業務

労働保険徴収室

労働保険料の徴収など

労働基準部

監督課

労働条件の確保・改善に関する指導、労働時間対策など

健康安全課

労働災害防止、労働者の健康確保、職業性疾病の予防など

賃金室

最低賃金・最低工賃の決定、賃金制度に関する指導など

労災補償課

労災保険給付、被災労働者の社会復帰対策など

職業安定部

職業安定課

職業紹介、雇用保険など

職業対策課

高齢者・障害者・外国人の雇用対策及び雇用管理の改善、事業主のための各種給付金など

訓練課

公的職業訓練、学卒者の雇用対策、ジョブ・カード制度など

需給調整事業室

労働者派遣事業、職業紹介事業など

労働基準監督署 (7署)

事業場に対する監督指導、申告・相談等への対応、労働災害の調査、労災保険の給付など

ハローワーク (10所)

求職者への就職支援、求人者への人材確保支援、雇用保険の適用、失業給付など

4. 労働基準監督署を紹介します

県下に7か所ある労働基準監督署をご紹介します。

◆ 岐阜労働基準監督署（岐阜市五坪1-9-1）



当署は県都岐阜市とその周辺地域を管轄しており、主要産業としては、アパレル産業、航空機・自動車部品等製造業、給水栓製造業などに特徴があります。

労働基準監督官は、働き方改革や労働災害の防止などに取り組むほか、最低賃金の履行確保や賃上げ要請にも重点的に取り組んでいます。このように労働者が安心・安全に働くことができる職場環境の確保が主な仕事ですが、重大悪質事案には特別司法警察員とともにあります。

仕事内容が多岐に渡り、苦労することもありますが、研修などサポート体制も充実しているので、短期間で仕事を覚えられると思います。また、様々な経歴を持った方も多く働いており、刺激を受けながら充実した職業生活を送ることができます。

志のある皆さん、一緒に働いてみませんか。



◆ 大垣労働基準監督署（大垣市藤江町1-1-1）



当署は、岐阜県の最も西に位置しており、交通の便も良く、鉄道で名古屋から約30分と通勤圏内です。また、高速道路のアクセスも良く、東海地域はもとより北陸や関西方面への移動にも便利な場所です。

労働基準監督官は、労働者・使用者をはじめ多くの人の声を聴きながら、監督指導や関係法令の周知、特別司法警察官として刑事事件の処理など幅広い業務を経験できます。

複雑・困難な仕事もありますが、多くの事業を経験し、一步一步スキルアップを続けることで、大きな充実感を感じることができます。ぜひ一緒に働いてみませんか。



◆ 関労働基準監督署（関市西本郷通3-1-15）



当署の管内には、世界三大刃物産地や日本三大和紙の一つである美濃和紙の産地があるほか、金属、機械器具、自動車製品を製造する企業等が多くあります。また、自然環境も豊かであり、モネの池、うだつの上がる町並み、小瀬鶴飼等の観光地もあります。

正職員9名、再任用職員1名、非常勤職員9名が配置され、署長を含めた労働基準監督官5名で、労働者が安全で健康に働くことができる職場環境を整備するため各事業場の指導等に日々奮闘しています。

【脚ノ勝 署長】

そんな中、わからないこと、疑問なことが出てきますが、先輩方が懇切丁寧に指導してくれますし、コミュニケーションを取りやすい環境を心がけていますので安心して勤務ができる職場です。

みなさんと一緒に働くことができることを職員一同楽しみにしています。



【交通】

- JR名古屋駅→JR岐阜駅へは20分程度です
- 名古屋鉄道の利用者や車通勤の職員も多くいます
- 隣接県から通勤している職員も少なくありません



◆ 恵那労働基準監督署（恵那市長島町正家1-3-12）



きなかつた貴重な経験がたくさんあります。「多様なとの出会い」は必ずみなさんとの視野を広げ、「人の人生に関わる責任と誇り」はみなさんの成長を促し、豊かな職業人生を実感させてくれることでしょう。「人の役に立ちたい」「社会に貢献したい」、そんな熱い思いを持つみなさん！心からお待ちしています。

若い監督官が躍動する岐阜労働局と一緒に働きましょう！



◆ 高山労働基準監督署（高山市花岡町3-6-6）



当署の管轄である飛騨地区は、豊かな自然と文化に恵まれた世界的にも有名な観光地です。特に、世界遺産に登録されている白川郷は最も有名で、その他にも飛騨地区の中心で古い街並みが残る高山市、温泉が有名な下呂市、映画の舞台となった飛騨市などがあります。

また、当署の特徴の一つとして、管轄する面積がとても広く、なんと東京都や大阪府などを含む12の都府県よりも広いです。なので監督指導を頑張ったあとは、ちょっとした達成感にけっこ長く浸りながら、大自然の中を運転して署に帰ってくることができます。

志のある方にとってはとてもやりがいのある仕事だと思います。

一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



◆ 岐阜八幡労働基準監督署（郡上市八幡町有坂1209-2）



当初管内は、自然に囲まれた風光明媚な土地であり、夏には日本最大盆踊りの1つである徹夜踊りが催され、また、いくつもの大きなスキー場を擁することから冬にも多くの観光客が訪れます。

そのような環境の中、当署では職員8名が一丸となり1つ1つの仕事に取り組んでいます。

労働基準監督官の仕事は、働く人々の声なき声を聞き、隠れた問題を探りだし、解決に導くことです。大きな期待を背負っていますが、同時に

【若田 丈雄 署長】に大きなやりがいのある仕事です。あらゆることに好奇心を持ち続け、焦らずに歩みを続けることで、きっと大きく成長することができます。そして、岐阜労働局はそのための体制が充実しており、とても恵まれた環境です。

ぜひ一緒に働きましょう。



◆ 多治見労働基準監督署（多治見市音羽町5-39-1）



当署管内は、歴史ある美濃焼の産地として、陶磁器製造が盛んな地域です。また、高速道路等の交通網が充実していることから、大手ネット販売業者の物流拠点などが進出しています。

私たち監督官は、様々な産業で働く人たちが、健康に、安心・安全な職場環境で働くことができるよう、日々、支援や指導に取り組んでいます。

監督官の仕事は、働き方改革の推進、労働災害の防止など



【脚ノ勝 署長】

そんな中、わからないこと、疑問なことが出てきますが、先輩方が懇切丁寧に指導してくれますし、コミュニケーションを取りやすい環境を心がけていますので安心して勤務ができる職場です。

みなさんと一緒に働くことができることを職員一同楽しみにしています。

